

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	刈谷市			代表者名	刈谷市長 稲垣武
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	企画財政部企画政策課	連絡先電話番号	0566-95-0003
担当者役職	主任主査	担当者氏名	石川 幸祐	連絡先E-mail	
住所	448-8501 愛知県刈谷市東陽町1-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	連絡先E-mail

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	管理監督者研修事業
概要	効率的・効果的な行政運営や住民への説明責任につながる、データや統計などの客観的根拠に基づく政策立案の重要性について、幹部職員を対象とした研修を実施することにより、理解促進を図る。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） EBPM（エビデンスに基づく政策立案）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年10月15日	講演(実地)	13時30分	15時30分	
				活動時間（分）	120
2-2. 派遣場所	会場名	刈谷市役所		最寄駅	刈谷駅
	所在地	愛知県刈谷市東陽町1丁目1番地		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	原田 智
評価	良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	経験が豊富であること、また元々行政職員であったことから、行政の視点でアドバイスをいただくことができた。業務を進める中で、先にゴールを描き、そこへ向かうためには、どうするかという視点を持つことや、企画・準備段階でほぼ決まる成否として、「三方良し」と「段取り八分」の視点、そして、「逃げなければ、デジタルが道（解決策）を沢山提示」など、多くの人を巻き込み、より多くの人に成功体験してもらうことが本当の成功であることを講演いただけたことが評価のポイントに挙げられる。
アドバイザーへの要望事項	特に要望はありません。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	82人
	属性	自治体職員	住民
	人数	82	
			企業・団体
			その他(学生など)
			後日アーカイブ視聴職員あり

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	自治体を取り巻く環境が複雑化・多様化する中、行政サービスは最少の経費で最大の効果が求められる中で、データや統計など客観的根拠に基づく政策立案が求められ、EBPMの重要性が高まっていると感じられる。 しかし、本市の実態としてRESAS等の利用経験のある職員は非常に少なく、データの適切な活用が進んでいない現状がある。
-----------------------	--

支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	EBPMの基本的な考え方や意義を理解するとともに、生成AIを活用したより効果的・効率的な政策形成の重要性を学び、管理監督職員としての資質の向上を図る。	
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	「EBPMの基本概念と生成AIの役割」をテーマに、時事研修を実施いただき、首長をはじめ管理監督職員に対し、ロジックモデルを参考に、EBPMの必要性や課題について話していただいた。その上で、自治体における生成AI活用について「まず使ってみる」チャレンジが重要であること、そして、活用事例を交え生成AIが社会に及ぼす影響や生成AI時代のEBPMについて講演いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	講師が行政職員であった経験も交え、行政課題の解決に向けた政策・施策はエビデンスがとらえ難いことを理解した上で、工程表（線表）の引き方について、スタートから引くと、工期が長期化しやすく、時機を逸して時代遅れになることもあり、工程表はゴールからスタートに向かって引くという視点を持つことも重要であるというお話を伺うことができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	首長をはじめ管理監督職員に、テーマである「EBPMの基本概念と生成AIの役割」を改めて学ぶ機会となったこと。また、次年度以降、担当職員向けにEBPM研修を実施する方向で検討をはじめるきっかけとなったことが成果である。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 （具体的にご記入ください）	事業単位では、客観的なデータや事実（エビデンス）を数値化できるものばかりではないことから、引き続き、現状や課題の分析、政策効果を高めるための検討を行い必要がある。また、政策の見直しを通じて職員の能力向上を図り、EBPMを定着させ、より効果的な政策の立案・改善に努め必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。）アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	管理監督職員向けの研修であり、アンケートは行っていないが、質疑応答においても改めてEBPMの必要性や施策評価等への活用を検討するきっかけとなった。	
4－3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
	担当者向けにEBPM研修やRESAS研修等を実施し、客観的な根拠やデータにより施策評価を行うなど、市民へもわかりやすい評価基準や資料作成を目指す。	
4－4. 事業の最終的な目指す姿	EBPMの基本的な考え方や意義を理解するとともに、生成AIを活用した、より効果的・効率的な政策形成の重要性を学び、管理監督職員としての資質の向上を図るとともに、管理監督職員からの指導・指示により政策の具体性が上がることで、住民に対し説明責任を果たすことを目指す。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他＞を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

